

センサ使用時の注意事項

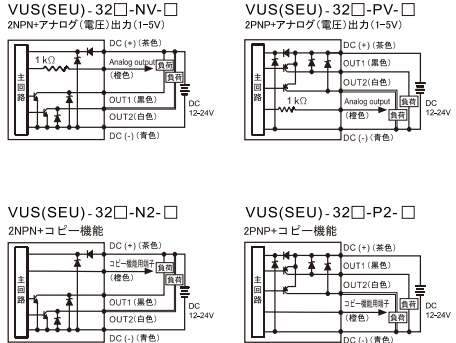
- ①腐食性及び可燃性のあるガスや液体には、使用しないでください。
- ②仕様書に定められている定格圧力範囲内で使用してください。
- 供給圧力は耐圧力を超えますと、製品の破損や機能の異常を引き起こす恐れがあります。
- ③取扱いの際、製品を落としたり、打ち当てたり、強い衝撃を与えないでください。
- センサボディ本体が破損しなくても内部が破損し誤動作する可能性があります。
- ④接続作業は必ず電源を切断した状態にて行ってください。
- ⑤誤配線はセンサの破損、故障、および誤動作を引き起こします。
- ⑥水滴、油滴、塵埃のかかる所では使用しないでください。
- ⑦本圧力センサは、防爆仕様ではありません。
- 可燃性ガスまたは爆発性ガスの雰囲気や粉塵のある環境では絶対に使用しないでください。
- ⑧高圧線や動力線と同一配線経路で使用されますと、ノイズによる誤作動の原因となります。個別配線経路にてご使用ください。

A.仕様

型 式		SEU-32 (正圧)	VUS-32 (負圧)	VUS-32R (差成圧)
定格圧力範囲		0.000~1.000MPa	0.0~101.3kPa	-100.0~100.0kPa
設定圧力範囲		-0.100~1.000MPa	10.0~101.3kPa	-101.0~101.0kPa
耐圧力		1.5MPa	300kPa	
適用流体		空気、非腐食性・不燃性ガス		
設定圧力分解能		kPa MPa	— 0.001	— 0.1
電源電圧		DC12~24V(リップル±10%以下)		
消費電流		40mA 以下(無負荷時)		
スイッチ出力		NPNオープンコレクタ出力 最大負荷電流:125mA 最大供給電圧:DC30V 内部電圧降下:1.5V以下	PNPオープンコレクタ出力 最大負荷電流:125mA 最大供給電圧:DC24V 内部電圧降下:1.5V以下	
線返し精度		±0.2%F.S. ±1digit 以下		
ファンポイント設定モード				
応差	応差モード	調整可能 (*1)		
ウィンドコンパレータモード				
応答時間		2.5ms 以下 (チャタリング防止機能:25ms、100ms、 250ms、500ms、1000ms、1500ms)		
出力短絡保護		有		
デジタル表示		3色(赤・緑・橙)表示(サンプリング周期5回/秒)		
表示精度		±2%F.S. ±1digit 以下(周囲温度:25±3℃時)		
動作表示灯		橙色(1&2表示灯) OUT1 OUT2		
アナログ出力 (電圧出力)		出力電圧:1~5V±2.5%F.S.以下(定格圧力範囲内に) 直線性±1%F.S.以下 出力インピーダンス約1kΩ		
保護構造		IP 40		
周辺温度範囲		動作時:0~50℃、保存時:-10~60℃ (結露と凍結なきこと)		
周辺湿度管理		動作時及び保存時:35~85%RH(結露なきこと)		
耐電圧		AC1000V 1分間(リード線とケース間)		
絶縁抵抗		50MΩ 以上(DC500V)(リード線とケース間)		
耐振動		複振幅1.5mm或いは100m/s ² 、1分間10Hz~55Hz~10Hz、 X、Y、Z 各方向2時間		
耐衝撃		100m/s ² X、Y、Z 各方向3回		
温度特性		±2.5%F.S.(基準温度25℃、範囲0~+50℃)		
管接続口径		O1:R1/8", M5, N1:UNPT1/8", #10-32UNF; G1: G1/8", M5		
ケーブル仕様		耐油ケーブル(0.15mm ²)		
質量		約80g(リード線2m含む)		

*1. ファンポイント設定モードとwindコンパレータモードは1~8digitsの応差を調整できます。

B.内部回路図



C.型式仕様説明

V U S - 3 2 - N V - 0 1

圧力種類

VUS-32R: 差正圧 (-101.0~101.0kPa)
VUS-32: 真空圧 (10.0~101.3kPa)
SEU-32: 正圧 (-0.100~1.000MPa)

出力種類I

N: NPN 出力
P: PNP 出力

出力種類II

V: SW出力2点+アナログ出力(1~5V)
2: SW出力2点+コピー機能

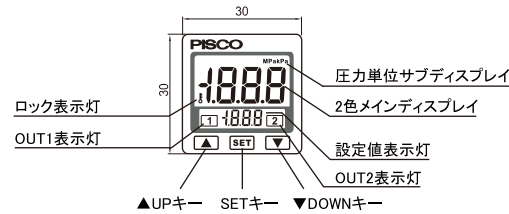
オプションパーツ

ACPG-32-B12: 取付ブラケット
ACPG-32-B13: 取付ブラケット
ACPG-31-P1: パネルアダプタ
ACPG-31-P2: パネルアダプタ+フロント保護カバー

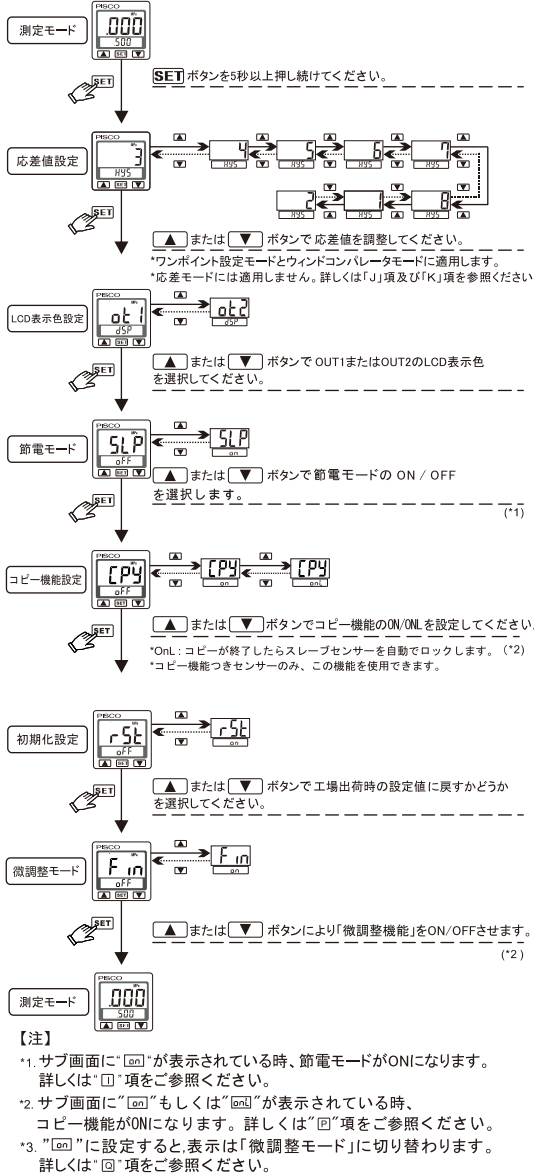
ポートサイズ

O1: R1/8, M5
N1 U: NPT1/8, #10-32UNF
G1: G1/8, M5

D.表示パネル名称

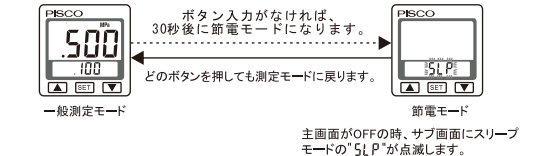


H.応用設定モード

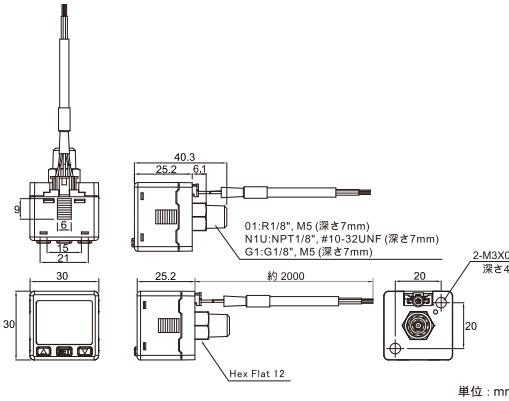


I.節電モード

- ① 節電モード設定30秒間にボタン入力がなければ、主画面は節電モードになります。
- ② 節電モード中に、圧力表示に微差が生じる場合があります。
- これは正常で出力操作に影響しません。
- ③ 節電モード中にどのボタンを押しても主画面が測定モードに戻ります。

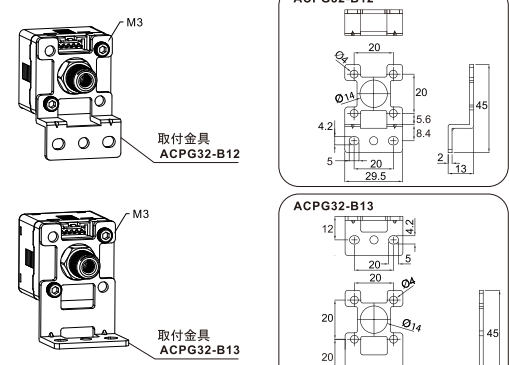


E.外形寸法図

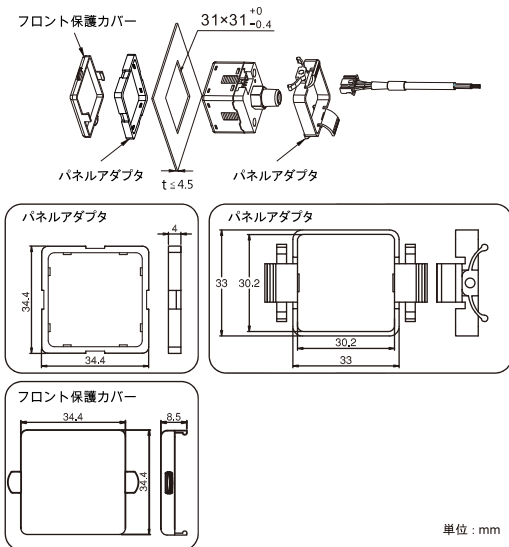


F.オプションパーツ/外形寸法図

① 取付金具

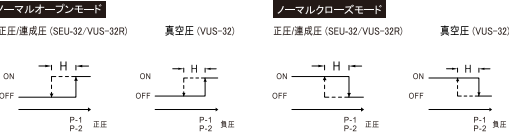


② パネルアダプタ

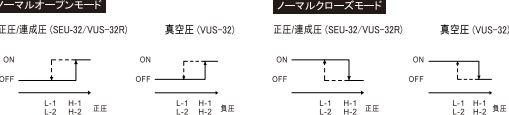


K.出力形態

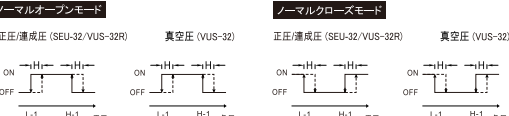
(1)ワンポイント設定モード:



(2)応差モード:



(3)windコンパレータモード:

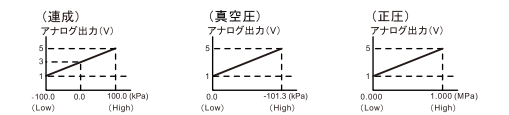


【注】

- *1. 応差が2digits又はそれ以下の設定時、入力圧力に非常に接近するとセンサ出力で誤作動を起こす可能性があります。
- *2. windコンパレータモード時、2つの設定ポイントは固定の応差設定値より小さい場合、スイッチ出力は動作しない場合があります。

L.アナログ出力説明

アナログ出力範囲1~5Vの適用圧力範囲は下記のグラフの通りです。

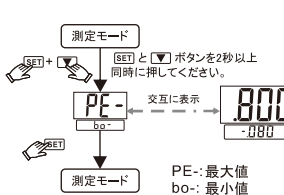


M.ゼロリセット設定

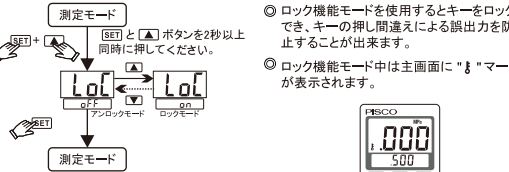
測定モード時▲と▼ボタンを“00”が表示するまで同時に押し続けてください。ボタンから手をはずすとゼロリセット設定が終了します。



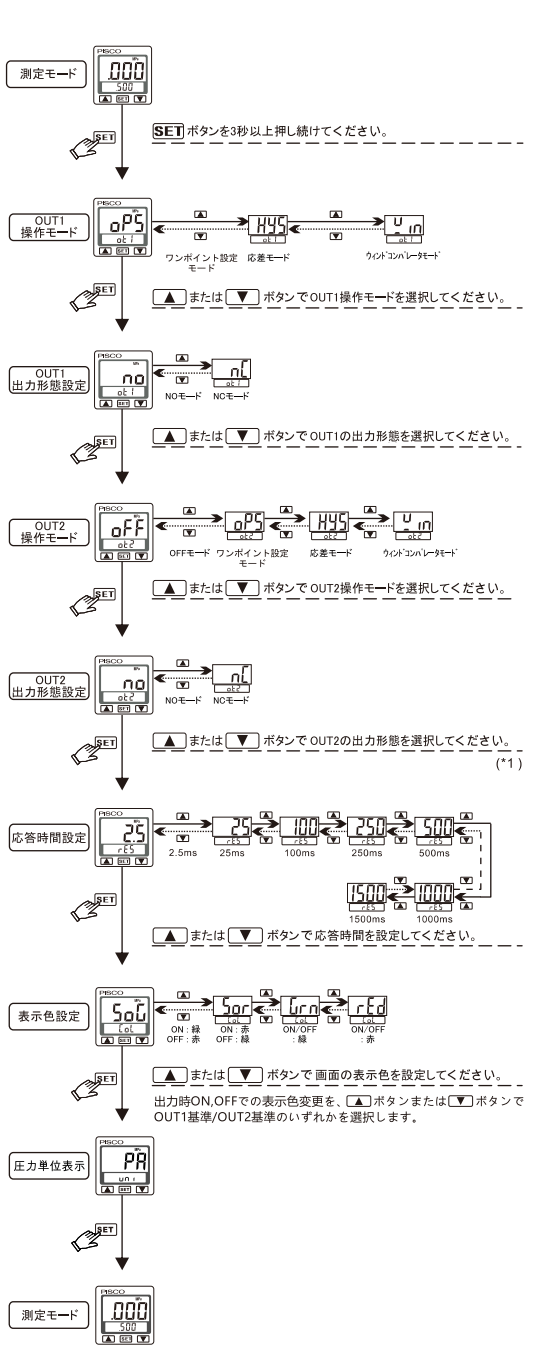
N.最大値/最小値表示



O.ボタンロック / アンロックモード



G.初期設定モード



【注】

*1. この設定モードはOutput2がOffに設定されている時は表示されません。

P.コピー機能設定

- ① マスタ側センサからスレーブ側センサに設定内容をコピーする機能です。
- ② コピー機能のご使用前に型式をご確認下さい。異機種間のコピーはできません。
- ③ コピー機能はマスタ側センサ1台に対してスレーブ側センサは1台までです。

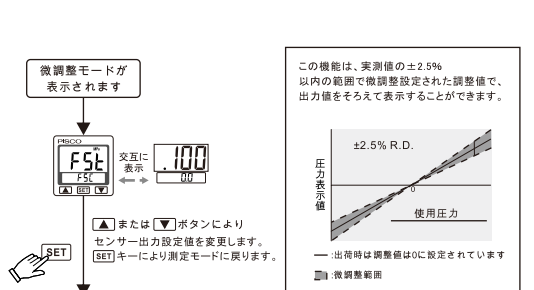
【設定手順】

- マスタ側センサのコピー機能設定を[an]または[anL]に設定してください。詳しくはH.応用設定モードをご参照ください。
 - マスタ側センサとスレーブ側センサの電源を切ります。
 - 下図のようにマスタ側センサとスレーブ側センサを配線します。
-
- マスタ側センサとスレーブ側センサの電源を同時に投入します。(*1)
 - 5秒後、コピーが完了した場合の、各センサの表示は下記の通りです。

【注】

- *1. 同時に電源を投入出来なかった場合、設定内容がコピーされないことがあります。
 - *2. コピーに失敗した場合、配線が正確であることを確認の後、手順3~5を行なってください。
- ④マスタ側センサのコピーモードを解除する場合:
マスタ側センサが[CPY]を交互に表示▼ボタンを押してコピーモードを終了してください。

Q.微調整モード



R.エラー表示説明

エラー名称	表示	エラー説明	処置方法
過電流	Err1	出力1の負荷電流が125mAを超えています。	電源を切り電源線の原因をチェックします。
出力2	Err2	出力2の負荷電流が125mAを超えています。	次に負荷電流を125mA以下に下げた後再度電源を入れてください。
残留圧力エラー	Err3	ゼロリセット設置時、印加圧力が大気圧の±3%以上です。	印加圧を大気圧状態にしてから再度ゼロリセット設定を行ってください。
使用圧力エラー	Err4	HHH 印加圧が設定圧力範囲の上限を超える。	印加圧を設定圧力範囲内に調整してください。
	Err5	LLL 印加圧が設定圧力範囲の下限を超える。	
システムエラー	Err6	内部システムエラー	電源を切断した後、電源を再度投入しても正常な状態に戻らない場合は弊社へご連絡ください。
	Err7	内部データエラー	
	Err8	内部データエラー	
コピーエラー	Err9	コピーデータエラー	本体型式及びリード線接続が正しいか確認してください。電源を再度投入しても正常な状態に戻らない場合は弊社へご連絡ください。